

施策番号	1201		
施策名	世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信		
概要	景観、観光、文化、環境等、京都がもつ魅力を向上させ、世界各国に効果的な情報発信を行うとともに、海外からの訪問者が快適に行動できるよう受入環境の充実を図り、世界中のひとびとを引き寄せるまちとする。		
担当局・部室	総合企画局・国際化推進室	共管局・部室	産業観光局・観光部
上位政策	12 国際化		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市国際化推進プラン，未来・京都観光振興計画2010+5，京都市M I C E 戦略		

施策の評価

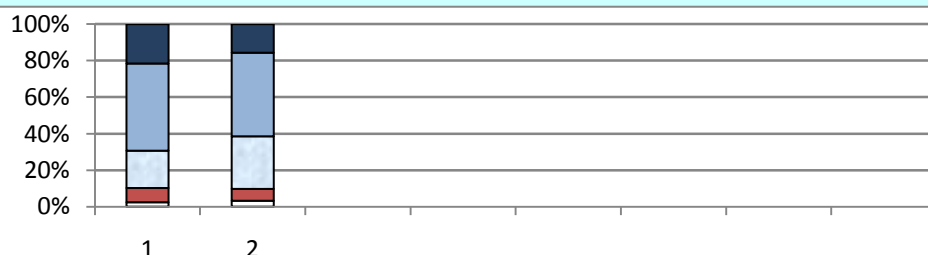
1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	コンベンション参加者数(人)	-	a	107,643	78,980	107,643	73.4%	d	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			a	客観指標総合評価				d	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも言 えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。	116 21.6%	257 47.8%	110 20.4%	42 7.8%	13 2.4%	538	b
2	京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。	82 15.6%	240 45.8%	151 28.8%	34 6.5%	17 3.2%	524	b
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらとも言えない
- どちらかというと思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						23 年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	d	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 世界への京都の魅力発信に対する評価は、市民の意識が重視されるべきであると考えするため、また、京都の魅力は多岐にわたるものであり、客観指標総合評価では全ての分野が網羅できないため、市民生活実感調査総合評価を重視する。								
(原因分析) ・客観指標については、東日本大震災等の影響によりコンベンション参加者数が落ち込み、d評価となったと考えられる。 ・総合評価はC評価となった。これは市民生活実感調査が2設問ともb評価となったことが影響している。2設問とも京都市政の複数分野にわたる設問であるにも関わらず、概ね良い評価がされており、文化遺産や大学の集積といった京都の強みが反映された結果となっている。							年度	—

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	京都文化交流発信事業の推進	9,019	10,936	普通	総合企画局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・国公賓客や市賓客の受入時に京都の魅力を発信する取組を継続して実施する。
- ・京都創生の取組等を通じて、京都のもつ様々な魅力を向上させる。
- ・京都のもつ様々な魅力を向上させ、世界に対して発信するため、庁内関係部局間の連携を密にするとともに、市民が外国の文化に触れる機会を増やし、おもてなしの心の向上、受入環境の充実を図る。
- ・多言語のホームページにて、京都が地震や福島第一原発事故の影響を受けておらず、安全であることを世界に対して発信する取組を継続して実施する。
- ・京都が持つ魅力を包括的かつコンパクトにまとめた多言語版のDVD（平成23年3月末作成）を、海外を訪問する交流団体や大学等、及び海外からの賓客等に配布し、様々な機会を通して京都市をPRする手段として活用していく。

施策名	1201	世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信					
指標名	コンベンション参加者数（人）						
担当課	観光MCE推進室		連絡先	2 2 2 - 4 1 3 0			
1 指標の説明							
1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数							
2 指標の意味							
経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で開催の国際会議」、日本政府観光局「国際会議統計」							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度	
数値	107,643	78,980	28,663人減	107,643	過去5年間の最高値	73.4%	
	全国順位	中長期目標			備考	数値の公表時期の関係により、評価は暫定値で行う。前回数値については実数に修正している。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新の数値が a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：過去5年間の平均値以上～上中間値未満 d：過去5年間の下中間値（平均値と最低値の中間値）以上～平均値未満 e：過去5年間の下中間値未満			6 基準説明				
			各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去5年間の数値の推移で評価する。 最高値 107,643人（平成22年） 平均値 86,422人 最低値 65,200人（平成20年）				
7 評価結果							
		23	24				
-	a	d					